

15. 竹細工

注) 竹細工を行うには指導員が必要です

(団体の中に竹細工の指導者がある場合は不要です)

1. ねらい

古くから伝えられている竹を使った簡単な道具や遊具を作り、伝承文化に親しむとともに、手づくりの遊具を使って遊ぶ楽しさを体験します。

2. 時期・時間・人数

- ・年間を通じて活動可能
- ・3時間
- ・100人まで(プレイホール)、40人まで(クラフトホール)、70人まで(2Fロビー)

3. 準備(よくお確かめください)

●は当所売店で購入可能(要予約)

自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
小刀(左利き用は柄が赤色です。) 竹割りなた、 きり、竹引きのこぎり、 ペンチ、丸太台、 ござ(ブルーシート)	●竹(材料費利用ガイドを参照) ●ごみ袋 ペイントまたは細マジック(絵を書き入れる場合) ※材料の注文はご利用2週間前までに

4. 活動内容

(1) 制作できる主な物



たけとんぼ



一輪ざし

(2) 活動の流れ

場所 クラフトホール、プレイホール、2Fロビー等

内 容	時間
・事務室に連絡して用具の貸し出しを受け、準備します。 ※「竹細工資料」を参考に進めてください。 (指導員は、実施前に制作行程の確認・安全面等について、代表者と打合せを行います。)	20分
・作り方の説明(指導員が行います)	20分
・制作	60~90分
・制作したもので遊びます。又は次の活動に使います。	30分
・後始末とまとめ	30分
・事務室に連絡して用具返納の確認を受けます。	10分

5. 留意点

(1) 刃物等を使うので、指の怪我などに注意します。

* 指導員が向かうまでは刃物は使わないように指導お願いします。

始める前に、団体で以下の項目をよく確認してください。

- 竹や道具がすべらないようにする。
- のこぎりで竹を切るとき、特に指を切らないように注意する。
- なたで竹を割るとき、竹になたを当てて、少し入れて割っていく。
(力を入れすぎないように注意する。)
- ナイフを使うとき、竹を持つ手の位置やナイフの方向に注意する。
- 指導員の指示に従い、行程によっては軍手を着用します。
ただし、軍手をつけてなた等を使用すると、滑って危険ですので、道具は素手で持つことを徹底してください。

(2) 後片付けは指定の燃えるごみ袋にごみを入れ、ごみ倉庫に出してください。

(3) 竹細工の指導員を要請する場合は、利用ガイド P21 にご記入の上、事前打合せ時に相談してください。